

【教員氏名】

望月 和彦
研究室:聖アンデレ館 10階 1023号室
メールアドレス:mochan@andrew.ac.jp

【授業形態】

講義

【講義・演習概要】

現在の開発途上国はかつて「後進国」と呼ばれていた。これは先進国に対比する呼び名であったわけだが、失礼な名称であることから開発途上国と呼ばれるようになった。30～40年前は開発途上国とは言いながらほとんど発展していないような国がたくさんあった。ところが今日、経済発展は多くの国で見られるようになっており、開発途上諸国はまさに開発途上にある。本講では経済発展の要因、経済発展の現状、経済発展の将来について考える。今年度は国際政治・経済に大きな波乱が起こることが予想されるため、前半の経済発展の要因よりも後半の世界経済の解説に重点が置かれることがあることをご承知願いたい。

【学習目標】

本学の教育の目標である「世界の市民の養成」に則り、世界の市民にふさわしい知識と判断力を涵養する。
単に教員が一方向的に話しをするのではなく、受講生に質問を通して言葉のやりとりをすることにより講義を進めていく形式をとる。

【講義計画】

第1回:導入 本講の基本的な考え方 科学的思考とは何か
第2回:経済発展とは
第3回:経済発展の要因 その他 お金
第4回:経済発展の要因 その2 資本・技術
第5回:経済発展の要因 その3 制度
第6回:経済発展の要因 その4 政策
第7回:経済発展の要因 その5 文化・思想
第8回:経済発展の要因 その6 社会秩序
第9回:世界経済の歴史と現在 戦後世界経済体制の成立
第10回:日本の経済発展と停滞
第11回:アメリカ経済
第12回:ヨーロッパ経済
第13回:中国経済
第14回:アフリカ経済
第15回:まとめ

【成績評価の方法】

試験評価:60% レポート:30% 出席:10%
2回の小テストとレポートにより成績評価を行う。ただし受講者数により小テストが実施できない場合にはレポートと期間内試験のみによって成績評価を行うことになる。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

プリントに書かれている資料が参考文献となる。

【準備学習の指示(事前学習 30時間、事後学習 30時間)】

毎回配布されるプリントと各自のノートにより復習を行うこと。

【その他備考(担当教員用)】**【備考(管理者用)】**

(旧:経済開発論)02～10E・CBCC 生読替